

## ■平成27年度第11回（第253回）

### 都市経営戦略会議（夏の集中審議）結果概要

【日 時】 平成27年9月1日（火）9時55分～10時25分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、遠藤副市長、木下副市長、本間副市長、水道事業管理者、教育長、技監、都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、経済局長

【議 題】（1）世界盆栽大会推進事業

#### < 提 案 説 明 >

世界盆栽大会推進事業について、経済局から次のような説明があった。

- ・ 世界盆栽大会への補助の妥当性や関連事業についてご審議をお願いするものである。
- ・ 「第8回世界盆栽大会 in さいたま」は、市補助事業の主体である実行委員会と大会関連事業を実施するさいたま市が協調連携しながら推進していくものであり、大会の効果としては、①国際会議観光都市としての都市イメージの向上、②魅力ある文化芸術資源である盆栽文化振興、③魅力ある地域資源である伝統産業・観光振興による地域活性化、④大宮盆栽ブランドの確立・発信を見込んでいる。
- ・ 資料4 ページの表は、大会の効果に応じた市の役割を示したもので、大会広報、会場関係費、受入環境整備、市民向けプログラム等を市の役割と考えて補助を行う。
- ・ 川口市、鹿沼市にも大会参加の意向をいただいております、参加自治体に補助をしていただく予定である。
- ・ 大会の開催が平成29年4月であるため、さいたま市の補助金については債務負担行為を組み、大会開催までの財政的負担を定めたいと考えているところである。
- ・ 平成28年度には、大会機運醸成と来場者誘致につなげるため、実行委員会と協力しながらプレイベントを実施する予定である。
- ・ また、「市内小学校5年生のための盆栽体験」など、市で盛り上げ事業を実施することで、より効果的に市民参加を促し、市内経済の活性化や盆栽文化振興に寄与していきたいと考えている。
- ・ さらに、「機運醸成と盆栽文化振興の事業」として、引き続き公民館での盆栽作製体験型講座を実施するなど、さいたま市全体で盆栽が育まれる環境を提供していく。
- ・ 広報事業として、今年度結成予定の芸能人や大宮盆栽の若手盆栽師等による、大宮盆栽を応援する「さいたま市盆栽部」の年数回の活動を検討している。
- ・ 市が実施する関連事業については、文化庁の補助金を申請して予算削減に努めてい

く。

### < 意見等 >

- ・ 例えば緑区でやっているオープンガーデン事業など、既存の事業に冠をつけて、市全体で盛り上げていく工夫をした方が良い。
- ・ 世代を超えて市民を巻き込むような企画を検討してほしい。
- ・ 国との連携、補助金等の状況については。
- 国とも適宜調整等を行っているが、補助金の対象は市が実施する関連事業であり、盆栽大会自体に、農林水産省や経済産業省などから補助金を得ることは難しいと認識している。
- ・ 多言語表記については、平成28年度までに整備しないといけないものであり、各部局で要求してもらわなければならない予算については、各局において優先的に配分するよう、経済局から働きかけてほしい。
- ・ 多くの来場者が見込まれる絶好の機会なので、同時期に実施するイベントと連動させたり、実施時期を移動させられるものは時期を調整するなどして、盆栽大会の開催時期前後1か月ぐらいに合わせた方が良い。観光で来た人に、少しでも長く滞在してもらえるような工夫が必要である。
- ツアーなども検討していきたい。
- ・ 盆栽アカデミーとの連動は。
- 世界盆栽大会までには、アカデミーのカリキュラムをスタートする予定である。
- ・ スポーツ文化局とも連携して、進めていってほしい。

### < 結果 >

- ・ 経済局発議の世界盆栽大会推進事業については、了承する。ただし以下の点に留意すること。
  1. 開催に当たっては、世代や地域に関わらず、他の既存イベントや各種事業（盆栽アカデミー等）の開催時期を合わせるなど、様々な機会を捉え市民を巻き込み、市全体で連携・連動して実施できるよう調整を図ること。
  2. 国及び参加自治体等へ働きかけ、積極的な財源確保に努めること。

### < 会議資料 >

(資料) 世界盆栽大会推進事業について